



NO. 7

令和2年10月1日

神根小だより

10月号 川口市立神根小学校

在籍児童数 男子(183)名 女子(143)名 計(326)名 15学級

「GIGAスクール構想について」

校長 中村 義郎

早いもので10月です。つい先日まで、熱中症予防に気を遣う日が続いていました。しかし、このところは急激に涼しくなり、肌寒さを感じることも多くなりました。ひと昔前に比べて、丁度よい気候の時期が短くなり、日本の気候が変化していると感じます。

学校では、引き続き感染防止対策に力を入れながら教育活動を行っておりますが、先日、市教育委員会より「実技等を伴う授業を行う上での留意点」が示されました。これにより今まで控えてきた教育活動の一部が、感染防止策を徹底した上で実施可能となりました。

具体的には、音楽における歌唱指導、リコーダーや鍵盤ハーモニカといった楽器を使用した指導、体育におけるボール運動指導等の再開です。また、委員会活動、クラブ活動も再開していきます。3密を避ける、大声を避けるといったことを念頭におきながらの再開ですので、換気を徹底した上で間隔をとり、活動人数や声の大きさに制限を設けることにはなります。特にリコーダーや鍵盤ハーモニカは、持ち物の準備や楽器等の取扱いで、ご協力いただくことがあります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

さて、現在、文部科学省は、新時代に対応した教育を実現するために、各学校に高速大容量の通信ネットワーク及び児童生徒一人一台の情報端末を整備する「GIGAスクール構想」を推進しています。それにより、児童一人一人に最適化した学びの実現することをめざしています。そして、川口市でも今年度中にこれら情報機器の整備が行われる予定となっており、神根小でも間もなくネットワークの設置工事が始まり、来年3月までには、一人一台の情報端末（タブレット）が整備される予定です。

これから先、タブレットを活用して（すぐにはできないこともありますが、）次のような学習活動が可能になると考えます。

- 漢字の学習について、目の前のタブレットで書き順を確認しながら学習する。
- 朝のパワーアップタイムやぐんぐんタイム等で、自分の力に応じた課題に取り組む。
- 自分や友達の運動の様子を撮影し、教え合いをすることで、技能の向上を図る。
- 自分の考えをタブレットで表現して、授業に参加する。
- アンケート機能等を使って、友達の意見を瞬時に集約しながら学習活動をする。
- 調べたことについて、タブレットを使って、友達と協働作業しながらまとめを行う。
- テストをタブレットで行い、間違えた箇所は、前の学年に戻ってやりなおしをする。
- 家庭学習をタブレットで行い、すぐにまるつけがされる。等々

実現にはまだ時間がかかる活動も含まれていますが、一人一台の端末の導入によって、学習の在り方が大きく変わりそうです。もちろん、これまで通り、教師児童の直接的な対話によって、問題解決を図る学習活動は、学習活動の核として継続していきます。

児童一人一人に確かな学力をはぐくむために、有効に活用していきたいです。

また、タブレット導入に先立ち、コンピュータ室等で利用可能なEラーニングシステムの使用が試験的に可能になるそうです。こちらも活用していきたいと思っています。

今年度は、運動会等大きな行事が中止となっています。現在、それに代わるような教育活動の実施について検討をしています。安全面の配慮をしながら、少しでも児童の思い出に残るような活動を実施していきたいと考えています。詳細については、改めてお知らせいたします。